

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 8 月 15 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	沓間 領

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
新潟県 妙高市 京大笹ヶ峰ヒュッテ
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
笹ヶ峰実習 (無雪期)
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 7 月 22 日 ~ 平成 26 年 7 月 25 日 (4 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京大笹ヶ峰ヒュッテ
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
概要
今回の渡航では PWS の必修プログラムの 1 つである笹ヶ峰実習に参加するために新潟県妙高市にある京大笹ヶ峰ヒュッテに向かった。本実習はこれからの自分のフィールドワークにおいて必要となってくる基本的な技能を学ぶために行われた。杉山茂さんには妙高で見られる様々な動植物について教えて頂いた。また、極地研の樋口さんに講師になっていただいて地図の読み方などを始めとした様々な事を学んだ。
内容
・ヒュッテ周辺の散策 ・地図の読み方、ロープワーク、ビバーク講習 ・火打山登山 (往復約 10 時間)
感想
これから野外研究を行って行く上で、研究以前に基礎的なフィールドワークの技能は必須である。そういった意味で今回の実習で経験豊富な先生方から教えて頂いた事 (多くは登山と共通している) はとても大事な事であると思った。特に樋口さんに教えていただいた地図の読み方、ロープワーク、ビバークなどはいざという時自分の命に関わる大切な技術であり、しっかりと反芻して自分のものになりたい。また、火打山登山では天候に恵まれず景色は余り楽しめなかったが、天候が悪い分学べた事も多くあった。 京大ヒュッテは周りの自然も含めて素晴らしい場所であり、ぜひ実習以外でも個人的に訪れたいと思った。
実習を担当して下さいました松沢先生、幸島先生、杉山先生、樋口先生、及び実習に参加された皆様、山岳部のお二人に多大な感謝を申し上げます。
<平成 26 年 5 月 28 日制定版> 提出先: report@wildlife-science.org

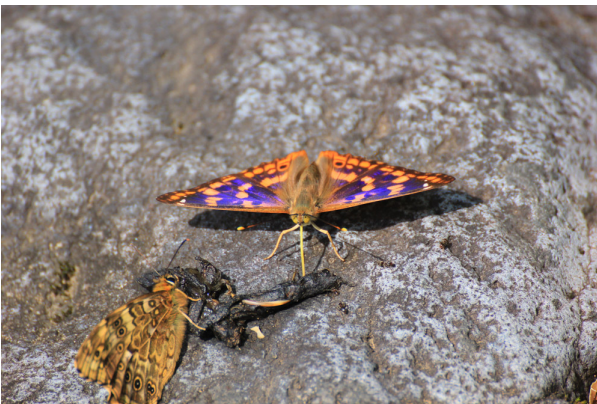
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

トンボ→



←笹ヶ峰ヒュッテ

高谷池ヒュッテ付近から→



←チョウ

6. その他 (特記事項など)